



2003 ~ 2004 年度
R I テーマ

Lend a Hand 手を貸そう

四つの重点分野：貧困・健康・識字・ロータリーファミリー

Lend a Hand

国際ロータリー会長 ジョナサン B・マジリアベ(国籍・ナイジェリア カノ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
〒874-0931 FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:beppu4rc@fat.coara.or.jp

理事	森 宗明	理事	鳴海淳郎	役員	会 長	後藤 隆	S A A	中島澄人
"	村津忠久	"	溝部 仁		副会長	森 宗明		
"	後藤健介	"	椛田健治		幹 事	小川雅代		
"	河村貴雄				会 計	岩尾昭治		

VOL . 16 - 41
2004 年 5 月 25 日

第 729 回 例 会

編集 中島 澄人

点 鐘 12:30

体 操 自律神経強化体操

R . S . 奉仕の理想

唱 歌 めだかの学校

B . G . M . 「日本フィルできく
美しい日本のうた」より
椰子の実
砂 山
城ヶ島の雨 他

ビジター 中村 光氏(別府北)

出席報告

委員長 佐藤 民子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	5 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
席	欠 席 数	6 名
	出 席 率	78.26 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	73.91 %
	事後メイクアップ	6 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
4/20	修 正 出 席 率	100 %

連 続 6 回

通 算 664 回 100 %

・メイクアップ

事前 木村、溝部、鳴海、大島、土谷

(2004年国際大会)

事後 平野、椛田、小川(別府東:創立25周年式典)

岩尾、河村、大島(別府東)

欠席

会長の時間

会長 後藤 隆

土曜日の夜から月曜日の夜まで、大阪での国際大会に出席された皆様、お疲れさまでした。ロータリアンとしてはあまり刺激を受けませんでした。とても楽しく有意義な二日間であったと思います。きっと永く皆様の思い出に残る旅になることでしょう。出席されなかった皆様には、次週卓話でご報告いたしますので、お楽しみに。

幹事報告

幹事 小川 雅代

1. 本日の卓話

『日露戦争百周年を想う』 後藤健介会員

2. 5月23日(日)~26日(水)大阪ドーム・大阪国際会議場・リーガロイヤルホテルに於い



て「国際ロータリー 2004 年国際大会（関西）」が開催されました。当クラブの参加者の皆さんは、22 日（土）19:00～さんふらわにて出発し、23 日（日）15:15～大阪ドームでの開会式に参加致しました。

登録者：後藤 隆、木村きぬゑ、上妻 浩、
溝部 仁、森 宗明、鳴海淳郎、
大島由美子、津末美代子、土谷昌秀、
梅津ヤヨイ、小川雅代 各会員

3. お祝い

配偶者誕生日 平野和子さん（5 月 27 日）

4. 例会変更のお知らせ

豊後高田 RC 6 月 1 日（火）の例会は、定款第 5 条第 1 節（C）に基づき休会
佐伯 RC 6 月 2 日（水）の例会は、早朝清掃例会の為 同日 6:00～城山周辺に時間・場所変更
くさき RC 6 月 9 日（水）の例会は、夜の例会の為 同日 18:30～志まるに時間・場所変更

5. 次週の予定

「2004 年国際大会（関西）報告会」

6. 本日の回覧

「第 4 回（新・旧）クラブ協議会」出欠席
*先週配布致しました「委員会活動計画・報告」がクラブ協議会の資料となります。準備の都合上、5 月 28 日（金）を厳守の上事務局へご提出下さい。今年度・次年度委員長の皆さん、ご協力お願い致します。
「会長・幹事慰労会」出欠席

7. 本日の配布

週報 727 号・728 号

スマイルボックス 委員長 村津 忠久

後藤会長

大阪の国際大会に出席の皆さん、お疲れさまでした。特に引率をして頂きました小川幹事、ありがとうございました。

小川会員

第 95 回国際ロータリー年次総会にご出席の

皆様お疲れさまでした。別府中央 RC らしい「ほっと」な楽しい旅でした。参加会員の皆さまに感謝してスマイル！

森会員

国際大会に参加の皆さん、おつかれ様でした。なにより小川幹事に心から感謝「何から何まで」ありがとうございました。おかげさまで楽しい旅行になりました。

梅津会員

22 日（土）より昨日 24 日（夜）まで「国際ロータリー世界大会大阪」へ行って来ました。さんふらわや飛行機の旅で修学旅行みたいでした。会長さん、小川幹事さん、特にお世話になりました。大変でしたですネ。しかし楽しい良い思い出がたくさんできました事を感謝してスマイル。

佐藤会員

世界国際大会お疲れ様でした。

いい経験をした話等おきかせ下さい。

上妻会員

ロータリー国際大会に出席してきました。

大会の運営には少し不満がありましたが、とにかく楽しい二泊二日の旅行でした。ご同行の皆様、特に小川幹事には大変お世話になりました。有難うございました。

薬真寺会員

昨晩は若い人達に招かれ、別府のことおこしの話（相談）？をもちかけられ、ほとんどの方が初対面だったのですが、熱い気持ちに共感し、バックアップを約束しました。「べっぷ」も草の根がどんどん広がっている気持ちがした一日でした。

吉富会員

先日の国際大会に参加された皆さん方ご苦労様でした。本日の後藤さんの卓話楽しみにしています。

また 6 月の 8 日、15 日の例会は、職業訓練指導員講習会等で、2 週連続で欠席いたしますので、事前報告に変えてスマイルいたします。

椋田会員

欠席が多くて申し訳ございません。

久しぶりに出て来ると季節が変わっていました。

河村会員

久しぶりの出席です。

週報が 6 枚もたまりました。初めてのことで

す。これから頑張ります。

村津会員

R I 大会ご出席のみなさん、御苦労様でした。

本日は別府食品衛生協会の総会で、監査報告を致さねばなりません。例会を早退します。御詫びしてスマイル。

卓 話

『日露戦争百周年に想う』

後藤 健介

前言

本年は日露開戦百周年に当たります。

明治27年(1904年)2月10日世界の強大国ロシアに対し、弱小国日本がその存亡を賭けて宣戦を布告したのです。

もしこの戦いに日本が敗れていれば、朝鮮国とわが国はロシア帝国の属邦となり、東京の皇居にロシアの総督府が建ち、当時のポーランドやバルト3国と同様にわが国民はロシアの圧政下に呻吟したであろうことは否定できません。勿論、ロシア革命も起こらなかったかもしれないし、その後の世界史は大きく異なった流れになったことでしょう。こういう意味で、わが国近代史の一大変換点であった日露戦争を考えてみることにします。

敵艦見ゆ

明治28年(1905年)5月27日午前2時45分、東支那海五島列島沖を哨戒中の仮装巡洋艦「信濃丸」の見張当直兵が海霧が深く立ちこめる漆黒の闇の中に1点の灯火を発見した。

接近してみると、それは航行中の病院船から洩れてくる灯火であった。病院船が存在するという事は周囲に大艦隊群が航行しているということである。漆黒の海上を搜索していると戦艦巡洋艦の艦影が闇の中に続々とみとめられた。信濃丸は、バルチック艦隊のど真ん中に迷い込んでいたのである。

「敵の艦隊、203地点に見ゆ。時に午前4時45分。」

信濃丸から第1報が発信された。この報告は東支那海に展開中の何艘かの通報艦を経由して、東京の大本営と朝鮮半島南東鎮海湾に待機中の聯合艦隊司令部に伝えられた。

聯合艦隊の旗艦「三笠」の作戦室で、この電

文に目を通した。作戦参謀秋山真之中佐は直ちに筆を取り、大本営宛の電報文を一気呵成に書きあげた。

「敵艦見ゆとの警報に接し、聯合艦隊は直ちに出勤之を撃滅せんとす。本日天気晴朗なれども浪高し。」

世紀の名文と称された電文である。この短い電文の中に極めて重要な作戦上の意味が籠められておった。

天気晴朗なれども浪高し

信濃丸から発信された電文は当然バルチック艦隊側の傍受するところとなり、日露両艦隊の参謀が予測した戦場は奇しくも対馬沖で一致した。

東郷平八郎海軍大将率いる聯合艦隊とロゼストウンスキー海軍中將率いるロシアのバルチック艦隊の戦力はほぼ互角である。当時の海戦は、戦艦(約1万5千トンクラス)、巡洋艦(8千トン~1万トンクラス)が8~6000米の距離で相対峙し大砲で撃ち合うのである。戦力(砲門数、砲の口径)が互角であれば艦砲の命中率が海戦の勝敗を決することになる。

聯合艦隊は朝鮮半島の南東、鎮海湾を根拠地として、沖合の小島を標的にして数ヶ月間に亘り、激しい射撃訓練を実施して万端の準備を整えた上でこの日を待っていた。一方、バルチック艦隊は前年の10月15日に北欧のバルト海に面したりパウ軍港を出港し、大西洋を南下、アフリカ大陸の南端希望峰を廻り、インド洋を横断し、マラッカ海峡を通過し、台湾沖を経て日本近海に到達したのである。航海日数約7ヶ月余、航海距離約1万8千海里(約4万キロ)、地球を半周する大航海であった。

このように両艦隊の置かれた状況を考えたとき、日本海特有の波浪の高さは、両艦隊の射撃命中率に決定的なハンディーキャップをもたらした



のである。

更にもうひとつの戦術要因である。当時の艦隊射撃は8～6千米の距離で撃ち合う目視照準による射撃である。このため海霧や降雨霽等の気象条件で視界が制限されれば、射撃のチャンスが制約される。バルチック艦隊全艦船の撃沈を至上命令とする聯合艦隊にとっては、任務遂行上致命的な状況に陥るのである。

ここに、聯合艦隊が直面する戦術的要因、即ち射撃命中率に直結する「浪高し」、射撃可能時間を左右する「天気晴朗」の語句の中に作戦上の重大な意味を、秋山参謀は短い電文の中にもりこんだのである。

余談になるが、秋山参謀は天才的な知謀の持ち主であったが、大読書家でもあった。海軍兵学校が東京の越中島に置かれておった時代（秋山真之が兵学校2年生の時、江田島に移駐）日曜日になると秋山生徒は信玄袋に読了した本を一杯詰め神田の古本屋街に行き、本を売却し、新しい本を信玄袋一杯になるほど購入して帰校し、翌日曜日には同じことを繰り返したという逸話が残されて

いる。

これらの本の中に、頼山陽が、中国路を旅行した紀行文があり、山陽が岩国の錦帯橋を訪れた際、橋の欄干に「本日天気晴朗なれども雲疾し」と台風一過後の情景を詠んだ一句が掲げてあったという挿話を思い浮かべ「本日、天気晴朗なれども浪高し」の一文を電文の末尾に書き加えたという。

秋山参謀は伊予松山の人。幼少時から正岡子規とは親友であり、郷里の松山中学校を卒業後、子規と二人して上京し、東京大学予備門（後の旧制第一高等学校）に籍を置き、文学を志していたが、家が貧しいため、学費が続かず、官費で勉学できる海軍兵学校の入試を受け、親友子規の下宿する机の上に置き手紙を残し、逃げるようにして兵学校に入学したのである。

秋山真之が当初の志どおり文学の道に進んでいたら、正岡子規に比肩しうる文学者になっていたのではなからうか。

以上、紙面の制約もこれあり、ここ数回にわけて掲載させていただくことにする。

乞うご期待。

